

「コロナ禍における学生生活に関する調査」 自由記述部分に関する大学の取り組みについて

コロナ禍における学生生活に関する調査の実施に際しては、学生の皆さんにご協力いただきまして、ありがとうございました。

2021年度に実施したこの調査は、コロナ禍における学生生活の満足度や課外活動、経済状況、不安・悩み等の正課以外の学生生活を幅広く把握し、相関関係を明らかにするものです。

選択肢によるアンケート結果は、既にホームページ上で公開していますが、その他に自由記述による意見・要望等も寄せられています。

これら意見・要望のうち、コロナ禍に関連する事項について関係の部局に回付しましたところ、これまでの取り組みや検討事項について、皆さんにお伝えしたい内容のコメントを得ましたのでお知らせします。

2022年6月29日

関西大学 学生センター
所長 松村吉信

【感染症対策、職域接種について】

感染症対策

- ・本学では、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、2020年1月に「新型コロナウイルス感染症に関する対策本部会議」を設置し、感染拡大防止策を検討・実施しています。
- ・対面授業の実施に際しては、感染拡大予防に関する留意事項を「対面授業における感染拡大予防マニュアル」として取りまとめ、教員用を各教員に配付するとともに、学生用については大学ウェブサイト上の専用ページに掲出しています。
- ・対面授業を実施するにあたり、教室は原則として「試験定員（一定の間隔を空けて着席できる人数）以下」の基準で配当しています（文部科学省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～」を参考に柔軟に対応しています）。
- ・キャンパス内の各建物の入口には消毒液及び非接触式体表面温度検知器を設置するとともに、インフォメーションシステムや学内掲示、デジタルサイネージ、マルチモニター等を通して、マスクの着用や手洗い、3密の回避などの基本的な感染対策を徹底するよう啓発しています。しかしながら、自由記述の意見のとおり、感染対策への意識が低い学生も一定数散見され、継続的な啓発に努めます。

PCR検査

- ・キャンパス内におけるPCR検査の実施は行っていませんが、2021年度は、教育・研究活動において、受入先機関等から検査（PCR検査・抗原検査）の受検を求められた場合及び当該部局の長が検査受検を必要とした場合、当該学生の検査費用について実費を補助する取扱いとしており、2022年度もこの取扱いを継続しています。
- ・課外活動においては、2021年度は、①連盟等主催の公式戦、②学外団体主催のイベント、③学外団

体との練習試合等で検査（PCR検査・抗原検査）の受検を求められた場合及び学生センター所長が検査受検を必要とした場合、一部回数上限を定め、一定金額を補助する取扱いとしており、2022年度もこの取扱いを継続しています。

大学からの情報発信

- ・「新型コロナウイルス感染症に関する対応・主要なお知らせ」については、インフォメーションシステム及び大学ウェブサイトにて専用ページを設けて発信しており、学内の感染者情報についてもここで状況報告しています。
- ・本学における感染拡大防止策等の検討は「新型コロナウイルス感染症に関する対策本部会議」で行っており、授業形態を含め大学の様々な事業活動については、国や大阪府等からの要請等を踏まえながら本会議で決定した「新型コロナウイルス感染症に対する事業活動等の基準」に則っています。

ワクチン

- ・本学学生が、安心して安全な学生生活を送れるように、なるべく早くワクチン接種を済ませてほしいとの思いから、下表のとおり、本学各キャンパス（千里山、高槻ミュージズ、堺）において、2021年度はワクチンの1・2回目職域接種（大学拠点接種）を実施しました。なお、千里山キャンパスにおいては、2022年度に、3回目職域接種（大学拠点接種）を実施しました。

	1・2回目職域接種	3回目職域接種
千里山	2021年 6月21日～8月31日 （日曜及び8月 18,19日除く）	2022年 5月9日～28日 （日曜除く）
高槻ミュージズ	2021年 7月10,11,17,18日 8月7,8,14,15日	—
堺	2021年 9月6日～10日 10月4日～8日	—

- ・ワクチンの職域接種の案内については、大学ウェブサイト内の新型コロナウイルス感染症に関する専用ページやインフォメーションシステムを通じて行いました。なお、実施期間、また実施期間中における各日・各時間における予約枠数については、本学で実施可能である体制の最大限で設定して実施しました。
- ・ワクチンの1回目職域接種の際、教育後援会の助成により、学内で接種した学生に対し、関大前商店会、高槻キャンパス、高槻ミュージズキャンパス及び堺キャンパス内の食堂・売店等で使用できるクーポン券（500円分/人）を発行しました。
- ・高槻ミュージズキャンパスでは、大阪府の大規模接種会場として2022年2月7日～3月31日の期間で、ワクチンの3回目接種（大規模接種）を行いました。
- ・大阪府が2022年4月21日から実施した大規模接種会場等における「大学等单位での団体接種」についても、インフォメーションシステム等を通じて案内を行いました。

【授業・カリキュラム】

- ・2022年度も2021年度春学期・秋学期授業と同様、原則対面授業としています。ただし、履修者の多い授業については、2021年度に引き続き、オンデマンド配信授業としています。なお、コロナ禍収束後も授業科目の特性を考慮した上で、一部のオンデマンド配信授業は継続する予定です。
- ・オンライン授業受講に際して、操作上の疑問をサポートするべく、ITセンターウェブサイト「オンライン授業に関するQ&A」を掲載しています。
- ・遠隔授業を受講するにあたり、学生の皆さんへ向けた情報をまとめてウェブサイトに掲載しています。
- ・オンデマンド配信授業については、関大LMSと連携した動画編集ソフト「Panopto」を新規導入し、授業の質向上を図っています。
- ・試験の時間割については、春学期は6月下旬に、秋学期は12月上旬に発表しており、インフォメーションシステムの「試験システム」において各自で確認することができます。

【施設・環境について】

- ・現下のコロナ禍の状況に鑑み、キャンパス内で遠隔授業を受ける場合やデバイス等を充電することができる自習スペースを設けています。ただし、キャンパスによって、曜日・時限ごとに自習スペースは異なります。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、開室時間の制限を実施していた各施設については、国または大阪府等からの要請や大阪府の感染状況等を勘案しながら、適時、元の開室時間に戻しています。
- ・KU-WiFiについては、2018年度から2022年度までの5カ年計画で、無線LANのアクセスポイントを教室に増設する計画でしたが、現状に鑑み、計画を前倒しして4カ年で整備することとし、2021年度に計画が完了しました。

【食堂について】

- ・現下のコロナ禍の状況に鑑み、感染症対策として、①消毒液の設置、②対面席間のアクリルボード設置、③常時換気の徹底をはじめとする感染拡大防止措置を行っています。
- ・100円朝食・夕食事業については、コロナ禍で経済的に困窮する学生を支援する等を目的に、2022年度も継続して提供しています。
- ・「公益社団法人日本非常食推進機構（WeAct）」との協定に基づき、企業や自治体等が保有する使用期限が迫った非常食を食堂施設等で学生等に配付し、食に対する支援を行っています。

【奨学金制度について】

- ・現行の給付奨学金制度については、「2013年度学生生活実態調査」において学生の意見を反映して制度設計し、2016年度から実施しています。学部の給付奨学金については、成績重視よりも経済支援を重視してほしいとの要望に基づいて制度設計しました。学部ごとの総給付金額は決まっていますが、学部間で格差は生じないようにしています。今後も学生の意見を反映できるように制度の見直しを図っていきます。

〔課外活動（施設含む）について〕

- ・ 現下のコロナ禍における課外活動の取り扱いについては、国や大阪府からの要請等を踏まえ、課外活動への参加学生が安心・安全に活動できることを最優先に考え、適時、策定しています。
- ・ 2020年度及び2021年度の学園祭については、現下のコロナ禍の状況を踏まえて、従来のオンキャンパスでの学園祭ではなく、ユーチューブ（YouTube）やインスタグラム（Instagram）等によるオンデマンド配信を中心としたオンライン形式により開催しました。
- ・ ボランティア・ピア活動については、現下のコロナ禍の状況に対応するべく、オンラインを活用した活動形態を取り入れて活動をしています。

〔その他〕

学内ポータルサイト・講義情報

- ・ これまでの課題改善を図るべく、2021年度に新インフォメーションシステムを稼働しました。今後も引き続き、学内関係部署と連携し、更に使い易いシステムへの改修の検討を行います。

支援金

- ・ コロナ禍における経済支援として、次の3つの経済支援策を講じました。
 - (1) ゆめサポ（夢実現支援金）として、夢や目標に向けて取り組む学生に対し、コロナ禍でもその夢を見失うことのないように、活動のための支援金（20万円）を支給する制度を、2020年度に引き続き2021年度も実施しました。
 - (2) 緊急奨学支援金（新型コロナウイルス感染症の影響で、家計支持者の世帯収入が著しく急変したことにより修学が困難になった学生を対象に、授業料の一部を充当するための給付奨学金（12万円）を支給しました。
 - (3) 短期貸付金の拡充として、一時的又は緊急に生活支援が必要となった学生を対象に、①貸付上限額3万円を10万円に増額、②返済期日を最大10カ月に延長しました。
- ・ 国による「学生等の学びを継続するための緊急給付金」事業として、新型コロナウイルス感染症の影響によるアルバイト収入の減少などにより、経済的な困難を抱える学生等を対象とした事業が実施され、日本学生支援機構を通じて3回の推薦を行いました。

交流

- ・ 新入生の課外活動を通しての交流機会を確保するべく、2021年度に引き続き2022年度も、十分な感染症対策を講じた上で「課外活動新入生オリエンテーション」を実施しました。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で2年間中止していた「新入生歓迎の集い（一人暮らしの新入生対象）」は、2022年度は実施しました。
- ・ 「Withコロナ学生支援企画」として、2022年度に第1弾から第3弾までの多様なイベントを実施する予定です。

以 上